



平成27年 6月30日 NO・42

〒311-1114 水戸市塩崎町1016
 TEL029-269-2116 FAX029-269-3160
 Mail tunezumi-j@magokoro.ed.jp
【ホームページで、カラー版が見られます】

事故ゼロを実現するのは教師か、生徒か (生徒諸君へ)

ある地域の人とお話をした。
 その方は、真剣な面持ちで、生徒たちの交通事故が心配だと話された。

話しの要旨は、『生徒たちの登下校のとき、歩道・車道を問わず、並進している姿をよく見かける。このままではいつか大きな事故が起きるのでは無いかと心配だ。』というものだった。

さらに、その場にPTA会長もおいでになり、会長からも次のような話があった。

「地域の方から、会長として学校に情報を伝えてほしいと依頼されていることがある。それは、このごろ登校時、下校時に友達をまっているのだろうか、多人数の子が歩道や車道にある程度まどまった時間止まっていて、道路をふさいでいる光景を目にする。後から走ってくる中学生にとっても危険だし、何より、自分たちが危険だ。事故が起こる前に、しっかりと改善を図った方がよい」という趣旨の申し出だという。

さて、生徒諸君、大人たちは、事故が起きる危険性がすこぶる高いと感じている、学校でも各クラスで二度、三度と指導が入っている。それにもかかわらずこの二つの話を聞いて皆さん自身はどのように感じただろうか。

今こそ、君たち自身が動くときではないのか？
 常中は、生徒の生徒による生徒のための学校であるべきだ。主役は君たちなのだ。

やらされるのか、それとも君たち自身が、自分たちの在り方を決めて実行するのかが問われている。

ほとんどの生徒が、下記の写真のように、ルールを守って自分はもちろん、友達の安全をも守る行動をしている。

一人も見捨てない何らかのアイデアを、まずは生徒会が中心となって考えてくれることを期待する。



2015/5/22

聴く力が全ての基本



2015/6/29

昨日は、全校集会があった。そこで50分以上の長い時間、数々の賞状の伝達をした。もちろん、賞状を受け取った生徒たちはすばらしい。今までの努力が報われた瞬間だ。しかし、受賞者を称えるフロア側の生徒も実に素晴らしかった。「長い時間、姿勢を崩さず、友を称え続けた」常中魂溢れるすがすがしい姿を見せてくれた、フロアの生徒たちも含めて、学校長として誇りに思う。全ての生徒が、安全・安心を感じることができる学校づくりの基本中の基本は、「聴く力」の育成にある。常中の教職員、生徒がそのことを理解してくれていることにも感謝する。

小学校時、どの小学校のどのクラスも、特別教室へ移動するときは、「クラスで並んで」「黙動で移動する」指導が行われてきたと思う。しかし、中学校では、学校全体で行動する集団行動を学ぶ機会が少ない。昨日の全校集会は、四月の始業式後初めての全校全体の集団行動の場がある行事だった。さて、下の写真は一の一、大貫学級の体育館までの移動の様子だ。

二・三名の生徒が、かげだして列を乱す。すると、誰かが『並べ』と声をかける。結果として前田委員長を先頭に並んで体育館に入った。全体のもつ美しさに「頼もしさ」を感じた。

このような行動ができるのは、担任

の大貫先生の日頃の緻密な指導と、生徒たちの心がかみ合っている証拠だ。集団行動は、実は自分の(自分たちの)心を磨く場なのだ。「黙」の時間、「全体で統一した動きをする時間」がよりよい学校づくりのポイントになる。今後常澄中学校では、集団行動の時間を大切にしていきたい。



2015/6/29

一の一 大貫学級の移動の様子